



Secure Web Appliance の概要

- [Secure Web Appliance について \(1 ページ\)](#)
- [ネットワーク設定の記録 \(1 ページ\)](#)

Secure Web Appliance について

Cisco Secure Web Appliance S196、S396、S696、および S696F は、組織が Web トラフィックを保護および制御するのに役立ちます。このガイドでは、アプライアンスのセットアップとシステムセットアップ ウィザードを使用したアプライアンスの基本設定の方法について説明します。また、アプライアンスの設定方法については、『[AsyncOS for Cisco Secure Web Appliances User Guide](#)』の「Deployment」の章を参照してください。

ネットワーク設定の記録

作業に取り掛かる前に、ネットワークおよび管理者の設定について以下の情報を書き出してください。

展開オプション	
Web プロキシ： <ul style="list-style-type: none">• L4 と透過• WCCP ルータとの透過スイッチ• 明示的なフォワードプロキシ	L4 トラフィック モニター： <ul style="list-style-type: none">• シンプレックス タップ/SPAN ポート• デュプレックス タップ/SPAN ポート
ネットワーク コンテキスト	
ネットワーク上の別のプロキシの有無：	
他のプロキシ IP アドレス：	

他のプロキシポート :	
ネットワーク設定	
デフォルトのシステムホスト名: (Default System Hostname:)	
DNS サーバー :	インターネットのルート DNS サーバーを使用。 DNS サーバーを使用 (最大 3 台) : 1. 2. 3.
Network Time Protocol (NTP) サー バー :	
タイム ゾーンの領域 :	
タイム ゾーンの国 :	
タイム ゾーンの GMT オフセッ ト :	
インターフェイスの設定	
管理ポート (Management Port)	
IP アドレス : (IP Address:)	
ネットワークマスク: (Network Mask:)	
ホスト名 (Hostname) :	
データ ポート (オプション、「注」を参照)	
IP アドレス : (IP Address:)	
ネットワークマスク: (Network Mask:)	
ホスト名 (Hostname) :	
(注) Web プロキシは、管理インターフェイスを共有できます。データ インターフェイス の IP アドレスと管理インターフェイスの IP アドレスを別々に設定した場合は、同じ サブネットを共有できません。	
ルート (Routes)	

管理用の内部ルート	
デフォルト ゲートウェイ :	
静的ルート名 :	
静的ルートの宛先ネットワーク :	
静的ルートのゲートウェイ :	
データ用の内部ルート	
デフォルト ゲートウェイ :	
静的ルート名 :	
静的ルートの宛先ネットワーク :	
静的ルートのゲートウェイ :	
透過 ルーティング デバイス	
デバイス タイプ	<ul style="list-style-type: none"> • Layer 4 Switch または No Device • WCCP ルータ <ul style="list-style-type: none"> – 標準のサービス ID を有効にする (web-cache) 。 – ルータアドレス : _____ – ルータセキュリティを有効にする。 Password: _____
<p>(注) アプライアンスを WCCP ルータに接続する際は、システム セットアップ ウィザードの実行後に WCCP サービスが作成されるよう、Cisco Web セキュリティアプライアンスの設定が必要になる場合があります。</p>	
管理設定 (Administrative Settings)	
管理者パスワード :	
システムアラートメールの送信先:	
SMTP リレー ホスト :	(オプション)
オートサポート: (AutoSupport:)	有効 (Enable)

SenderBase ネットワークに参加: (SenderBase Network Participation:)	有効 (Enable) <ul style="list-style-type: none"> • 限定的 (Limited) • 標準 (Standard)
セキュリティ サービス	
L4 トラフィック モニター :	<ul style="list-style-type: none"> • モニターのみ (Monitor only) • ブロック (Block)
許容できる使用の制御 :	有効 (Enable) <ul style="list-style-type: none"> • Cisco IronPort Web 使用コントロール
Web レピュテーションフィルタ :	有効 (Enable)
マルウェアおよびスパイウェアの スキャン :	<ul style="list-style-type: none"> • Webroot を有効にする (Enable Webroot) • McAfee を有効にする (Enable McAfee) • Sophos を有効にする (Enable Sophos)
検出されたマルウェアに対する措 置 :	<ul style="list-style-type: none"> • モニターのみ (Monitor only) • ブロック (Block)
IronPort データ セキュリティ フィ ルタリング :	有効 (Enable)

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。